

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年4月12日

【評価実施概要】

事業所番号	0172900656		
法人名	特定非営利活動法人 こうえい会		
事業所名	グループホーム こうえい愛宕館		
所在地	北海道旭川市豊岡8条7丁目3番2号 (電話) 0166-37-4611		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成22年3月26日	評価確定日	平成22年4月26日

【情報提供票より】(平成22年3月12日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	18人, 非常勤 人, 常勤換算 10.4人

(2) 建物概要

建物構造	愛宕館 木造亜鉛メッキ銅版葺 造り		ひかり館 鉄骨亜鉛メッキ銅版葺 造り	
	1階建ての		~ 1階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000円	その他の経費(月額)	17,000~22,000円	
敷金	(有) 50,000円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 50,000円	有りの場合 償却の有無	有 / (無)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,350円			

(4) 利用者の概要(3月12日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	3名	要介護2	4名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	5名	要支援2			
年齢	平均 82.9歳	最低	59歳	最高	99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	国本病院 忠和CL 橋爪CL リハビリテーション医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

このホームは、『ありのままを知り受け入れる、その人らしく生きる、喜びの実現』を基本理念として利用者一人ひとりの症状を理解し、安全に安心して過ごして戴けるように関わりを持ち、笑顔がたくさん見られるようにとの思いで日々実践に向けて取り組んでいます。毎月法人内で研修を実施し、職員の研修の機会を確保されると共に外部研修参加を奨励し、職員を段階に応じて育成する取り組みが行われています。又、町内会の清掃事業や花壇の花植え等の活動や盆踊り等の行事への参加、近隣小学校の運動会見物、近所の喫茶店やお店などを積極的に利用するなど地域の方々との交流を図っています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では改善点の指摘はありませんでした。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価はすべての職員で相談し、その内容を管理者がまとめて作成しています。外部評価については、実施する意義を十分理解し、前回の評価を活かして具体的な改善に取り組んでいます。又、評価結果は運営推進会議や利用者家族に報告しています。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2カ月毎に実施され、メンバーは利用者、家族、町内会長、知見を有する人、民生委員及び管理者・職員で構成され、防火防災、避難訓練の取り組み方、ホームの現状報告などについて感想や意見を貰いサービス向上に活かしています。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>毎月の「愛宕館便り」「ひかり館便り」にて、行事や生活の様子が変わりやすいように記事にして掲載しており、現金出納の記録も添付して送付しています。来訪時には、意見や要望、不満を言い易い雰囲気作りで心掛け、出された意見は各ユニットで話し合い改善に向けて取り組んでいます。又、家族会や総会、運営推進会議での意見や助言は運営に反映されるよう取り組んでいます。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会の清掃事業、花壇の花植え、資源回収等への協力や盆踊り等の行事への参加、近隣小学校の運動会見物等を通じて地元の人々との交流に努めています。又、散歩での挨拶や会話、近所の喫茶店やお店などを積極的に利用するなど交流を図っています。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ありのままを知り受け入れる」「その人らしく生きる」「喜びの実現」を事業所独自の基本理念としている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットの見やすい場所に掲示し、職員は理念を記載したカードを携帯している。又、カンファレンスや勉強会の際に理念を職員間で共有し、実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会の清掃事業、花壇の花植え、資源回収等への協力や盆踊り等の行事への参加、近隣小学校の運動会見物等を通じて地元の人々との交流に努めている。又、散歩での挨拶や会話、近所の喫茶店やお店などを積極的に利用するなど交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価はすべての職員で相談し、その内容を管理者がまとめて作成している。外部評価については、実施する意義を十分理解し、前回の評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。又、評価結果は運営推進会議や利用者家族に報告している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月毎に実施されメンバーは利用者、家族、町内会長、知見を有する人、民生委員及び管理者・職員で構成され、防火防災、避難訓練の取り組み方、ホームの現状報告などについて感想や意見を貰いサービス向上に活かしている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の集団指導や研修会、包括支援センターとの情報交換や助言等でサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の「愛宕館便り」「ひかり館便り」にて、行事や生活の様子がわかりやすいように記事にして掲載しており、現金出納の記録も添付して送付している。来訪時には日々の出来事、健康状態や暮らしぶりを報告している。又、体調の変化がある際は随時、連絡や相談をしている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時には、意見や要望、不満を言い易い雰囲気作りに心掛けている。出された意見は各ユニットで話し合い改善に向けて取り組んでいる。又、家族会や運営推進会議で地域の人達や家族等の意見や助言を運営に反映させるよう取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ほとんどの職員は長期間同じユニットに勤めて、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよう配慮し、人的環境の変化に敏感で不安になりがちな利用者への配慮を特に気をつけて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月第3金曜日に、法人内の内部研修を継続的に実施し、職員の研修の機会を確保されると共に実践者研修やリーダー研修等の外部研修参加を奨励し、職員を段階に応じて育成する取り組みが行われている。又、外部研修を受けた職員からの研修報告会も開催し、内容を職員間で共有している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	実践者研修やリーダー研修、グループホーム連絡協議会の研修への参加、地域包括支援センター主催の事例検討会や交流会等にも積極的に参加しサービスの質を向上させていく取り組みをしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、利用前には、本人や家族等の見学で職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	センター方式を活用して、職員は、本人を介護される一方の立場におかず、野菜の皮むき、洗濯物干しや洗濯物たたみ等を行い、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向はセンター方式を活用し、生活歴、習慣、好み等を家族からの聞き取りや日常生活での会話や表情から把握に努めている。又、その人らしい暮らし方が出来るように職員同士が情報を共有し支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、ありのままを受け入れ、その人らしい生活が送れるように本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、定期的に見直しを行うと共に見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、現状に即した新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、受診の送迎や近隣の観光地へ気分転換のドライブ、大型スーパーへの買い物など柔軟に支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切にし、利用前からのかかりつけ医や提携医療機関と気軽に相談出来る関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。又、往診にも対応されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化における対応について、主治医と相談し、本人・家族の要望に応えられるよう繰り返し話し合いが行われている。又、『終末期の生活介護覚書』を家族と話し合い作成し、ホームが対応できる事を明確にして全員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	専門職としての倫理を大切にし、記録の扱いについても、十分に注意している。又、利用者一人ひとりの尊厳と誇りを損ねないような言葉かけや対応を心掛け、プライバシーや羞恥心の配慮にも十分注意して支援している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	センター方式を活用し、利用者一人ひとりの気持ちが把握され職員間で共有されている。本人のその日の希望や体調を踏まえ、散歩や買い物、ドライブ等の外出やホーム内での家事全般の役割ごとなど本人の希望やペースにそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや力を活かしながら、料理の下ごしらえや配膳、食器拭きや後片付け、時には希望の食事や外食等食事が楽しみなものになるよう支援している。又、献立は、職員が食材品目を多く取り入れ栄養のバランスを考えて提供している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	最低、週2回を目安に一人ひとりの要望や生活歴、タイミングを見て気持ち良く、ゆっくりと楽しみながら入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内で役割ごととしてタオルたたみ、茶碗拭き、洗たく物干し、たたみなどを一緒に行い、出来た事の喜びやホームでの存在感を持って戴けるように支援している。又、買い物や散歩、ドライブなど外出の機会を作り気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそって、散歩や買い物、ごみ捨て、観光地へのドライブや外食等外出の支援をしている。みんなで外出することが困難になって来ているが生まれ育った家やお墓や喫茶店など個別に対応し、なるべく戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者の外出傾向も職員間で共有され、雪かきなどでは職員も一緒に行動し安全面で配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者を設置し、消防計画、点検、火災時の緊急時対応マニュアルを作成している。又、年2回緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う避難訓練を実施している。		今後は、さらに緊急時等昼夜を問わず日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけていくことを期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量は記録されており、職員が栄養バランスや摂取カロリーを把握している。又、水分摂取量が少ない場合は、ゼリーなどで水分を取り易いように工夫して提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には懐かしい置物や活け花を飾ったり、共用空間の壁には季節ごとの行事の飾りや季節の花を飾り季節を感じられるように工夫している。音や光を嫌がる方がいるので、カーテンで光を調節し配慮している。また、利用者同士で思い思いに過ごせるように3か所にソファを置き好きな所で座れるようにしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人や家族と相談しながら、使い慣れたタンスやベット等の家具が持ち込まれ、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。